

<p>【学校教育目標】</p> <p>気づく 考える 行動する 一歩上のぼく・わたし</p>	<p>【本年度の重点目標】</p> <p>「今より一歩上のぼく・わたし」の自分づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学級で落ち着いた学習を行い、アンダーアチーバーの児童を「0」にする。 ○ 「問い」と「振り返り」のある授業の日常化と交流する時間の充実を図る。 ○ キャリアノートを活用し自分自身の取組の振り返りを行い、努力する良さを実感させる。
--	--

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
知識・技能		<p>◎基礎学力の確かな定着【指標】全国学力・学習状況調査(6年)県学力テスト(5年)県チャレンジテスト(4年)NRT学力検査(全学年)</p> <p>＜結果＞県学力テスト：嘉麻市平均値以上、県チャレンジアップテスト県平均値以上、昨年度NRT学力検査：国語51.2、算数55.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上プランの評価・改善を行い、検証改善サイクルの実働を図った。 ・T T (ティームティーチング) や習熟度別分割など、個に応じた支援を行う体制を整えた。 ・毎週木曜日のチャレンジタイムを活用して、複数教員が指導する補充学習を行った。 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人に目を配った教えで学力がアップしているのだと思う。先生方の努力に感謝します。 ○その子に応じた細やかな指導や支援はとても良いことだと思う。 ○チャレンジタイムの活用で、より細やかなサポートが行われていると感じる。 ○土曜未来塾で、子ども達に基礎の力をしっかりつけていただいていること、更に自ら学ぼうとする意欲がすごいと感じる。学んでいる子ども達にも褒めている。このまま中学で続けられればどの高校にもパスできる。地域人として感謝している。 ○できれば、国語も平均値に近づくような取組をしてほしい。 ○4月段階での管理職間の実態分析と連携の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力定着のために、少人数指導など個に応じた細やかな指導や支援を継続する。 ○来年度もチャレンジタイムを活用し、複数教員による指導体制での補充学習を行い、基礎学力の定着を目指す。 ○土曜未来塾の意義を保護者に伝え、参加児童を増やす。 ○来年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら低学年の放課後学習を再開していく。 ○小中で連携し、学力の二極化という課題の解決に向けた取組を行う。
		<p>◎家庭学習(宿題+自学+準備)の習慣化【指標】10分×学年+10分以上への到達児童80%</p> <p>＜結果＞家庭学習時間目標達成率90%：宿題提出率99%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期に家庭学習強化週間を設定し児童の意欲の高揚を図った。 ・学年に応じた自学内容例「自学メニュー」を配布し、一人ひとり達成目標ページ数を設定したり、全学年自学ノートの展示を行ったりして、意欲の高揚を図った。 	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染拡大防止で自宅待機中、家庭学習が上学年では疎かになっていたのによく取り返している。先生方の指導と子ども達のがんばりの結果だと思う。 ○個に応じた指導により宿題や自学ができるようになり、わからないところは補充学習を行ったことが各種テストのレベルアップにつながったと思う。先生方の日々の指導に感謝します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の習慣化や忘れ物0を達成できている児童は称賛し、意欲の高揚を図る。 ○自学の内容面でのレベルアップを目指す。 ○担任と専科が連携して、個に応じた家庭学習課題を準備する。 ○高学年では、学年家庭学習目標時間に到達できるように、個別に家庭学習計画を立てさせる。
		<p>◎学びの構え・土台づくり(学習規律の確立)【指標】児童学習アンケート「大変よい・よい」の回答90%</p> <p>＜結果＞児童学習アンケート「大変よい・よい」と回答した児童84.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのかまえ(物構え・身構え・心構え)」を全学級の前面に掲示し、意識付けを行い、授業前の確認、授業後のふり返しを行うなどして意識の向上を図った。 ・各学期末に、児童の学習アンケートを実施した。 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達一人一人に応じた「やる気」を高める工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も、学習規律の徹底を図り、児童の学習意欲を高めていく。 ○主体的・対話的で深い学びの視点から授業づくりを行い、話し合い活動や自分の考えを表現する活動の充実を図る。 ○児童が主体的に取り組む分りやすい授業づくりに努める。
	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の基礎学力の定着に向けて、個に応じた指導の充実やチャレンジタイムの活用など多くのご意見をいただき、改善策に反映させることができた。 ・家庭学習や自主学習については、なかなか取り組むことができていなかったが、現在は習慣化が図れているというご意見をいただき、取組の成果を確認することができた。さらなる質の向上に向けて改善策に反映させ、今後も取り組みを継続していく。 ・意欲をもって、主体的に学習に取り組む児童が増えてきている。今後も、学習規律の徹底を図り、児童の学習意欲を高めていく。 			
学 力 向 上		<p>◎規範意識の醸成【指標】児童の自己評価において「できた」の回答90%</p> <p>＜結果＞あいさつ：自分から進んで、元気にいつでもあいさつができた83%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月末にあいさつカードを記入し、自分の挨拶をふり返ったり、自分の周りのあいさつ名人を見つけたりする活動を行った。 ・5年生が中心となり、あいさつ運動を実施している。(毎日のあいさつ名人・今週のあいさつ名人の放送) 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶が見違えるようによくいった。地域の人達にも先に挨拶できるようになり、自ら行動している子ども達の成長を感じる。 ○朝の登校見守りで今年は元気がないなど思っていたら2学期頃から挨拶がよくなるようになった。 ○「あいさつ」は社会に出てからの第一歩であり、その一歩を自分から進んでできることは素晴らしい。マスクをして大きな声で挨拶できることはとてもよい。これからも頑張れ。 ○中学校生徒会活動との連携を早い段階から進めたらよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が提案し、全校に取り組みを広げてくれた「あいさつ運動」により挨拶が格段と良くなった。来年度も、この取組を継続し、自分から進んで元気に挨拶できる児童の育成を目指す。 ○嘉穂中と連携し、生徒会・児童会によるあいさつ運動を行う。
		<p>◎不登校ゼロの堅持【指標】0人</p> <p>＜結果＞不登校児童0人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福岡アクション3」に則り、不登校を生み出さない基本対応の徹底を図った。 ・欠席児童への連絡や家庭訪問を必ず行った。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の登校は、みんな元気に登校している。 ○コロナの関係で子ども達の元気な声を聞く機会が減っているが、学校でしっかり取組をされているので安心している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団登下校の意義をPTAと連携して保護者に伝え、協力を呼び掛けていく。 ○不登校傾向の児童を生まないよう保護者との連携を強化し、早期対応に努める。
		<p>◎いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底【指標】年間発見件数10件未満</p> <p>＜結果＞発生件数1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は毎月、保護者は各学期にいじめアンケートを行い、いじめの未然防止・早期発見に努めた。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめは、昨期は感じる時があったが、今期は感じない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケート後は個人面談を行い、学級全員の子ども達の思いを聞きとり、いじめの解決に向け、迅速で適切な対応を行う。 ○牛隈小学校「学校いじめ防止基本方針」について、保護者や地域への周知を徹底する。
	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生がリーダーシップを発揮できる場を設定したことで、以前よりも挨拶をする児童が増えていくと評価していただいた。今後は、嘉穂中学校生徒会とも連携し、取組を推進していきたい。 ・本校の不登校0が堅持できているのは、集団登校も一つの要因であると考えられる。しかし、保護者の車による送迎が増えてきているので、集団登下校の意義をPTAと連携して保護者に伝え、協力を呼び掛けていく。 ・いじめについては、アンケートだけに頼るのではなく、日頃から児童とのコミュニケーションを十分にとり、小さな変化も見逃さないように努めていく。 			
学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 力 等		<p>◎早寝・早起き・朝ごはん・メディア・お手伝い運動の推進【指標】達成児童90%</p> <p>＜結果＞早寝88% 早起き93% 朝ごはん96% メディアのやくそく90% お手伝い80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはんカードを活用し、学期ごとに取組週間を設定してPTAと連携しながら取組を実施した。 ・講師を招聘し、学年ごとにメディアの危険性について学習した。 	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ○スマホの危険性が指摘されている。もっともっと親を含めた取組を。 ○小中間での生徒指導の連携について、早い段階(4月中)での必要性を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアの危険性について、保護者も参加できる研修会を実施したり、保健だよりによる啓発を行ったりする。 ○スマホの所持やSNSでのトラブル等について小中間で情報を共有し、連携して生徒指導に取り組んでいく。
		<p>◎体力アップシートの達成・コーディネーショントレーニングの実施【指標】到達児童90% 実施学年100%</p> <p>＜結果＞体力アップシートの達成1学期90% 2学期80回 97% コーディネーショントレーニング100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーショントレーニングを教育課程に位置付け、すべての学年で実施できるようにした。 ・全学年で体力アップシートを活用している。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○近年、外で元気に遊ぶ子ども達が減ってきていると思う。学校で、外遊びやしっかり体を動かす取組をされていることはとてもありがたい。 ○コロナで体を動かす時間が少なくなっていると思う。遊びことも、体力増大に大いに役立つ。できるだけ友達と外遊びをして体力アップを。 ○休日に交通公園で元気に遊んでいる風景を最近よく見かける。 ○運動会も遠足も中止となり、子ども達はとても残念だったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力アップシートを活用し、天気の良い日は外遊びをするよう日常的に声かけをしていく。雨の日も、昼休みは学年割で体育館を開放し、運動できる環境を提供していく。 ○来年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら、体育委員会による「なわとびチャレンジ」の取組を実施し、冬場の体力アップを目指していく。
	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの長時間使用で、基本的な生活習慣が崩れてきている児童がいる。メディアの危険性について、保護者も参加できる研修会を改善策に盛り込み、必ず来年度実施していくようにする。 ・SNSのトラブル等については、中学校と情報を共有し連携して取り組んでいく。 ・コロナ禍でも、十分に体を動かし体力増進を図ることができよう、児童会や体育委員会と連携し新たな取組を進めていく。 			
地 域 ・ 家 庭 と の 連 携		<p>◎保護者・地域への情報発信の充実【指標】学校便りの毎月発行 学級通信の発行 HPの更新</p> <p>＜結果＞学校便り100%発行 学級通信100%発行 HP更新100%(月平均4回更新)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の学校便りで、教育活動や児童の様子を保護者・地域に発信した。 ・細やかにHPを更新することで、閲覧者が増加している。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりを毎月楽しみにしている。(下牛隈地区配布継続) ○地域の人達との繋がりを大切にする教えを引き続き行ってほしい。 ○もう少し大きい声での応待ができて欲しい。 ○芋掘りなど地域の人達と行う活動が再開されることを望む。 ○小中で、保護者への発信メール等の事前確認が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続して家庭や地域に学校の教育活動や児童の様子について情報発信しながら、家庭や地域との連携・協力を推進していく。 ○来年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら地域の方々との活動(芋苗植え・芋ほり等)を実施していく。 ○HPによる情報発信をさらに充実させる。
		<p>◎教育活動の改善に向けた保護者や地域へのアンケートの実施</p> <p>＜結果＞学習参観・運動会・学習発表会の中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習参観、運動会、学習発表会が中止となったので、個人懇談会を1学期末と2学期末に実施し、保護者の思いや願いを受けとめ連携を図った。 	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度は、学校・保護者・地域の関わりが少なくなっているのが残念だが、先生方が、より細やかに子ども達や家庭への対応がされていることに感謝する。 ○児童の命が奪われる痛ましい事件も起こっているため、学校も地域も、より注意し、防止に気を配っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○来年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら学習参観、運動会、家庭訪問を実施していく。 ○関係機関(子育て支援課やSC等)と要支援児童の情報を共有し、連携して取組を進めていく。
	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの学校行事が中止となり、学校関係者評価委員の方々や保護者の方から直接ご意見をいただく機会が減ってしまった。来年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら、できる限り行事を再開し、連携を深めていきたい。 ・全学年で、地域の「ひと・もの・こと」の教材を教育課程に位置付け取り組むことができたので、来年度はさらに、地域の見学や聞き取り学習を再開し、地域を愛する心を育てていきたい。 			